

所長の部屋



所長の健康アドバイス

健診結果への対応 (15) 尿検査

[2019年10月]

今回は尿検査についてです。主に尿中の血液、蛋白、糖などを調べます。通常はいずれも陰性です。陽性の場合について説明します。

まずは尿中に血液陽性の場合で、血尿と呼ばれます。見た目も赤い血尿は肉眼的血尿、顕微鏡で見て初めて分かる微量の血尿は顕微鏡的血尿と呼ばれます。いずれも腎疾患、尿路疾患などで起こりますが、よくある原因は女性の慢性膀胱炎です。

次に尿中に蛋白陽性の場合。これも原因として腎疾患や尿路疾患が疑われます。尿中の蛋白量が多い場合、高血圧を合併している場合は特に注意が必要です。

最後は尿糖について。糖尿病、胃切除後、腎性尿糖などでみられます。糖尿病や胃切除後では、食後1～2時間目に血糖値が180mg/dl以上になることがあり、尿中に糖が排出されます。一方で、一部の人は血糖値がこれ以下でも尿糖が陽性になり、腎性尿糖と呼ばれます。後者の場合は治療の対象にはなりません。

血尿、尿蛋白、尿糖ともに、陽性の場合には医療機関を受診して再検査を受けましょう。ここで注意が必要なのは、やせた人などでは、軽い運動や体の後屈だけで尿潜血や尿蛋白が陽性になる可能性があることです。再検査には早朝尿、すなわち朝起きてすぐに採取した尿を提出しましょう。早朝尿検査で異常なしになる場合は、治療が必要となることは稀です。

乙訓保健所長 時田 和彦

山城南保健所ホームページ

<http://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/ho-minami/>

「ひとこと健康アドバイス」バックナンバー

H27.11～H28.6 健康寿命を延ばす（メタボリック症候群についての話）

H28.7～H29.3 がんを防ぐ（食道癌、胃癌、大腸癌の話）

H29.4～H29.6 医者のお話（病院救急室の話）

H29.7～H30.5 健康診断結果への対応（健診で異常値が出たときの話）